

日本国憲法(抄)

第十四条 すべての国民は、法の下(もと)に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。

こやま地区 人推協だより

－ 第32号 －

2025年(令和7年)3月 発行

湖山地区人権啓発推進協議会

〒680-0941

鳥取市湖山町北1丁目202-1
湖山地区公民館内

TEL (0857) 28-1017

子どもえいが会とカレーづくり

救急救命・AED講習会



思いやりあふれる まちづくりをめざして

湖山地区人権啓発推進協議会

会長 田中忠義



2020年1月に新型コロナウイルス感染確認から今年で5年が経過しましたが、日本におけるコロナ感染による累計の死者数は13万人を超え、一昨年5月の5類移行後でも4.4万人の方が亡くなっておられることから、今一度、感染対策に十分注意を払っていく必要があります。

このような中で、今年度の人推協の事業は、年初の計画通り全て対面での実施ができましたことは、自治会や町民の皆様のご支援とご協力の賜物と感謝しています。

5月の総会に始まり、人推協の重要事業の一つであり、人権について地域における学習の場である小地域懇談会は、今年度対象の9町区を昨年に続き全て対面で実施することが出来ました。

今年度のテーマは昨年と同じで、超高齢化社会の中での「認知症」と家族や地域の関わりについて学び、もう一つは「家庭の人権」として、共働き世帯における家庭内の役割分担意識の違いや、地域の中で噂話を信じることで偏見が生まれ、心無い誹謗中傷が差別につながるなど、新

たな気づきや人権問題について考える機会の重要性を再認識することができました。

また、12月に実施した人権関連施設の現地研修では、昨年正月に発生した能登半島地震や、一昨年8月の台風7号による佐治地区を中心として洪水被害など、身近で起こる大きな災害に対し今一度災害への備えについて考えて頂くため、神戸市の「人と防災未来センター」を見学し、日頃から災害への備えの必要性や考え方について学びました。

終わりにになりましたが、能登半島では大地震や9月の大雨による洪水被害により、甚大な被害で被災者も多数おりましたが、これを他人事とせず「明日は我が身」と自分事として受け止め、できる備えを行っていかねばと感じました。

来年度も新型コロナやインフルエンザなどの感染症対策を行う中で、思いやりあふれるまちづくりを旨として人権を身近な問題として考えて頂けるよう取り組みを行ってまいりますので、皆様の一層のご理解ご協力と事業への積極的な参加をお願いいたします。

『思いやりあふれるまちづくりをめざして』

令和6年度 小地域懇談会

島川

- ◆ 9月25日(水) 19:00～
- ◆ 島川区公民館
- ◆ 視聴 DVD 『「家庭から振り返る人権」
～話せてよかった～』

〈アンケートより〉

- ・日常ではあまり考えていないが、こういう機会があるとハッと考える良い機会だった(男性)
- ・日々、わかっているつもりだったが、改めて考えるよい機会になりました(男性)
- ・今、自分自身ではいろいろ協力しているが、今以上に協力しようと思っている(男性)
- ・今まで当たり前だと思っていたことが、固定観念にとらわれていることが多いという事に気づきました。もっと多面から見て、考えていこうと思います(女性)

茶屋4区

- ◆ 10月3日(木) 19:00～
- ◆ 茶屋4区公民館
- ◆ 視聴 DVD 『「家庭から振り返る人権」
～話せてよかった～』

〈アンケートより〉

- ・昭和を生きていた自分としては、確実に時代は変化しているということ、強く実感しました(男性)
- ・長い間の考えに気づき理解する。そして考え方を変えるため、再々の研修が必要。当事者とならないと分からない、気づかないことが多いので、自分の啓発のためにまた研修会があれば参加したい(女性)
- ・家庭内だからこそ、個々の意見に丁寧に耳を傾け尊重し、お互い認め合うことが改めて重要だと感じたので、実践していきたい(男性)
- ・DVDは有効だと思いました。自分の頭で考える。口から一旦出した言葉は、二度と口の中には戻らない(不記載)

さかえ・農高南

- ◆ 10月6日(日) 10:30～
- ◆ さかえ公民館
- ◆ 視聴 DVD 『「家庭から振り返る人権」
～話せてよかった～』

〈アンケートより〉

- ・具体例が分かりやすくとても良い機会を頂きました。有難うございました(女性)
- ・相手の人の立場に立って考えることが大切だと思う(男性)
- ・大変参考になりました。DVDも見やすかったです。参加者が増える方法が必要かと、また子どものうちからの対応も必要。自分自身を振り返って、これからに生かしたいと思いました(男性)
- ・コミュニケーションが大切だと感じた(男性)

南2丁目南

- ◆ 9月29日(日) 9:00～
- ◆ 湖山地区公民館
- ◆ 視聴 DVD 『「やさしくの意味」
～おばあちゃんは認知症だった～』

〈アンケートより〉

- ・一人の老人として、認知症になっても穏やかに機嫌よく、誰からも責められず、自宅で暮らせたら最高!!。また自分が元気なうちは皆さんに喜んでもらえることをやっていきたい(女性)
- ・「脳イキキ5ヶ条」に気を付けて生活したいと思います(女性)
- ・人権に関する問題について、年々、内容や状況が変化しているので、毎年研修会に参加したいと思った(女性)

南2丁目

- ◆ 10月6日(日) 9:00～
- ◆ 南2丁目集会所
- ◆ 視聴 DVD 『「家庭から振り返る人権」
～話せてよかった～』

〈アンケートより〉

- ・初めてなので勉強になりました(女性)
- ・人権意識を深めるとても良い機会になりました(男性)
- ・時間配分、終了時間によっても印象が変わると思う(男性)

南団地

- ◆ 10月5日(土) 18:00～
- ◆ 南団地公民館
- ◆ 視聴 DVD 『「やさしくの意味」
～おばあちゃんは認知症だった～』

駅前1区

- ◆ 11月10日(日) 10:00～
- ◆ 駅前一区公民館
- ◆ 視聴 DVD 『「家庭から振り返る人権」
～話せてよかった～』

人権啓発講演会

共催：湖山地区人権啓発推進協議会・湖山小学校教育協議会・湖山地区公民館

- ・日時：令和6年12月14日(土) 10:20～11:40
- ・演題：「子どもの幸せと親の思い」～『なりたい自分』になるための関係づくり～
- ・場所：湖山地区公民館
- ・講師：鳥取市小学校校長会 会長 鳥取市立醇風小学校 校長 蓮佛 浩二さん

私たち大人が
できること

1月から始まった夜ドラに出ていた蓮佛美沙子さんを観ながら考えた。「鳥取の希望の星だな」と。鳥取っ子も夢は叶えられるということを体現してくださっている。

そんな彼女のお父様のお話を聞き、夢を叶え、なりたい自分になるための原動力は何なのか分かったような気がした。それは「愛情」である。ただかわいがるだけではない。子どもが自立し、自己決定していくための土台を作る手立てを、大人が責任と深い愛情をもってしっかりと行っていくことが原動力になるのではないだろうか。「大人」とは、保護者、教職員、地域住民など、子どもの周りの大人全てである。大人からの愛情が土となり、根を張り、ゆっくりと花が開いていく…。

♪～ほら あなたにとって 大事な人ほど すぐそばにいるの～

夢を叶えたもう一人のお嬢さん、杏沙子さんの歌が、心に沁みわたった。そばにいる大人が、子どもたちの夢の実現への手助けをする方法はいくらかもありそうだ。私も、自分のことから始めてみようと思う。

(湖山小学校 K・T)

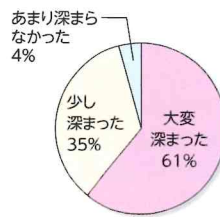
実施報告・アンケート結果

『「やさしくの意味」～おばあちゃんは認知症だった～』

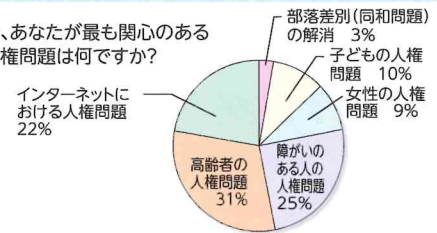
●参加者の年代



●認知症を発症した高齢者がどのような行動をとってしまうか、またどのような心境であるのかについて理解は深まりましたか？

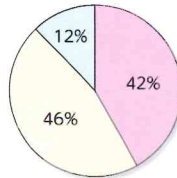


●今、あなたが最も関心のある人権問題は何ですか？



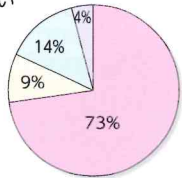
●DVDでは、小学3年生の「実由」は同居する曾祖母の「きよ」が一日に何回も同じことを聞いてくることに、つい、「きよ」にきつい言葉を投げつけてしまう場面が描かれていますが、視聴してあなたはどのように感じましたか？

- ☐ 認知症は決して他人事ではなく、いつ自分の事となるのか考えてしまった
- ☐ 自分や家族が認知症を発症した時、どのように行動していくのかの一助になった
- ☐ 認知症を発症した家族が、症状の進行とともにその苦労がよく分かった



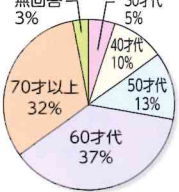
●今日の小地域懇談会に参加して、何か行動しようと思いましたが？(複数回答可)

- ☐ 人権問題に関心を持ち、偏見をもったり、差別をしないようにしたい
- ☐ 人権問題について、もっと知識を深めたり勉強したりする機会を持ちたい
- ☐ ほかの人権に関するイベントにも、機会があれば参加したい
- ☐ 特に行動しようと思わない

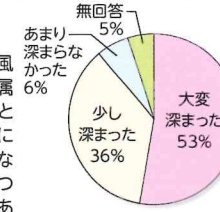


『「家庭から振り返る人権」～話せてよかった～』

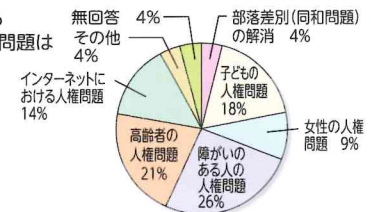
●参加者の年代



●私たちは、実態を知らないにも関わらず、風聞やイメージによって、あるカテゴリーに属する人への誤解や偏見を持つてしまうことがあります。偏見の一例としてひきこもりにも悩む親子が描かれていますが、「個」を見ないでその人物をカテゴリーで捉え、決めつけてしまうことは偏見につながる恐れがあることについて理解は深まりましたか？

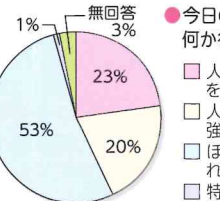


●今、あなたが最も関心のある人権問題は何ですか？



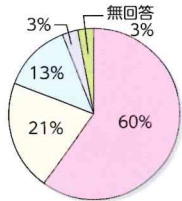
●DVDでは、共働き家庭の性的役割分担意識の違いについて描いています。夫のサシ自身は「妻に協力的ない夫」の自覚があるため、妻のミサキの不機嫌な態度が理解できず、職場で愚痴をこぼしていますが、自分の思い込みや、ミサキとの間にある意識のズレについて、あなたはどのように感じましたか？

- ☐ そもそも家のことは妻がやるのが「普通」と思っていることが間違いである
- ☐ 手伝って思っていることは、自分の仕事だと思っていないということである
- ☐ 家事・育児・介護などの家庭的責任は、男女が協力して分担することが重要である
- ☐ 特に感じることはなかった



●今日の小地域懇談会に参加して、何か行動しようと思いましたが？(複数回答可)

- ☐ 人権問題に関心を持ち、偏見をもったり、差別をしないようにしたい
- ☐ 人権問題について、もっと知識を深めたり勉強したりする機会を持ちたい
- ☐ ほかの人権に関するイベントにも、機会があれば参加したい
- ☐ 特に行動しようと思わない

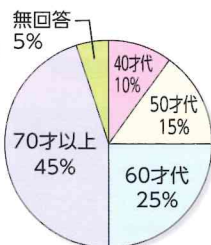


令和7年度 小地域懇談会 開催町区

●松ヶ丘 ●茶屋1区 ●茶屋2区 ●茶屋3区 ●二本松 ●浜 ●青葉台
●新川 ●井津水 ●さざなみ ●駅前3区 ●大石橋 ●南通り

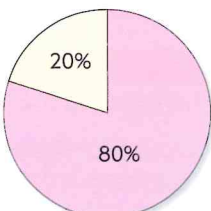
湖山地区「人権啓発講演会」アンケート

●参加者の年代(湖山町住民のみ)



●今日のテーマである「子どもの幸せと親の思い」のお話を聞き、どのような気づきがありましたか？

- ☐ 親子の関係に大変関心が深まった
- ☐ 親子の関係に関心が少し深まった



■参加者の声■

家庭でできる元気になるためのトークとは？

- ・やりたいことをやってみよう！ やればできるよ！
- ・子どもの気持ちを一番に考えてやろうと思います。
- ・肯定的な言葉を使って会話し、背中を一押しするような会話をしたい。
- ・親の思いを押し付ける会話が多く、またそれに応えようとする子どもの会話が多くの元気になるトークに変えていけたらと思いました。
- ・毎日があわただしい中、子どもに寄り添った言葉かけが出来ていないことを見直すきっかけとなりました。子どもの自己決定を促し、それを後押しする言葉かけと思います。

感想・意見コーナー

- ・頭では分かっていた当たり前のこと。でも改めて気づかされた大切なこと。ありがとうございました。
- ・背中を押すことの大切さを感じました。とても心温まる内容だったと思います。ありがとうございました。
- ・長い人生、この年になっても毎日が勉強です。とても良いお話でした。
- ・とても心が揺さぶられる講演でした。蓮佛先生の子どもを思う心が随所に感じられ、涙が出そうになりました。
- ・残り少ない人生だと思わないで、まだまだ役に立つ事が、他人や自分にあると思いました。
- ・親として子育てに今携わっております。とてもお話を聞けて良かったですし、家に帰ってから早速実践させていただきます。



人権現地研修

共催 湖山地区公民館



- ・日 時：令和6年12月3日(火)
8:00～18:00
- ・場 所：神戸市
『人と防災未来センター』と
三田方面

人権現地研修に参加して

昨年の12月に「人と防災未来センター」を初めて訪問しました。ここでは、阪神・淡路大震災の地震の激しさを音と映像で疑似体験をさせてもらいました。

様々な場所での地震時の映像が次々爆音と共に映し出されたので、長時間揺れたように感じました。しかし、あの突然の激震はたった15秒だったという。たった15秒で建物が倒壊し身動き出来ない程の激しい上下動で何も出来なかったという。そして、多くの人の命が奪われたことに、改めてその恐怖を感じました。

その日は、大阪から来ていた中学生も一緒に体験しましたが、子ども達にとってもショックな体験だったと思います。しかし、これからの命を守りつないでいく為には若者の体験が必要だと感じました。

これまで、どうか災害が起こりませんようにと祈り、鳥取は大丈夫だろうという根拠のない正常性バイアスが働いていたことを反省しました。

今回の体験から自分事として捉え、災害への備えをよりしっかりしていきたいと思いました。貴重な研修に参加させていただき、ありがとうございました。(参加者より)

令和6年度 活動報告

《湖山地区人推協活動》

日 程	項 目	参加人数
5/15(水)	総会	32
7/21(日)	小地域懇談会説明会	12
8/7(水)	子どもえいが会とカレーづくり	38
9/29(日)	救急救命・AED講習会	29
10/23(水)	人権啓発講演会 湖山小学校との打合せ会	3
12/3(火)	現地研修	19
12/13(金)	講演会前日準備	8
12/14(土)	人権啓発講演会	47
年 間	理事会(6回)	-

《湖東ブロック人推協活動》

日 程	項 目	参加人数
4/12(金)	総会	2
7/26(金)	人権啓発研修会打合せ	2
9/7(土)	人権啓発研修会	7
11/29(金)	会長研修会	1
3/8(土)	人権啓発推進員研修会 年度末総会	6

《鳥取市地区人推協連合会・県人推協活動》

日 程	項 目	参加人数
5/17(金)	鳥取市地区人推協連合会 総会	2
6/28(金)	会長研修会	1
7/19(金) 7/20(土)	第1回推進員全体研修会	3
7月～12月	推進員研修会 (各2講座以上選択)	8
8/2(金)	第49回人権尊重社会を実現 する鳥取県研究集会(倉吉)	2
8/23(金)	第49回人権尊重社会を実現 する鳥取市民集会	3
12/6(金) 12/7(土)	第2回推進員全体研修会	4

湖東ブロック
人権啓発
研修会

- ・日 時：令和6年9月7日(土) 10:00～11:50
- ・場 所：賀露地区公民館
- ・演 題：「アイヌ民族の歴史と文化」
～アイヌ民族との出会いで学んだこと～
- ・講 師：前鳥取県人権擁護委員連合会 会長 河 原 清 夫 さん

アイヌ民族は、長い歴史の中で、様々な伝統や文化を発展させてきました。では、なぜ差別を受けることになったのでしょうか。それは、明治時代に入ってから、戸籍が作成されたとき、独自の文化を奪われてしまい、アイヌを理由に、差別や偏見を受けていったのです。

私たちは、アイヌ文化をもっと知り、歴史的、社会的背景への理解を深めていかなければいけないと思いました。今でも残っている身近な言葉に、「シシャモ」「ラッコ」などがありますが、今では話せる人が少なくなったので、アイヌ語教室やラジオ講座もあるそうです。クマ祭りなどの儀礼が昭和時代に復興し、伝統舞踊にも伝承の輪が広がっているとか。

ほとんどアイヌ民族について知識のなかった私ですが、過去の苦難の中にもしっかりと伝統文化を引き継いできた先人たちの尽力を忘れてはいけな

と感じています。講師の河原先生は、民族衣装での講義で素敵でした。

(人権啓発推進員 尾崎 恵)

アイヌの人々は、明治維新までは、北海道で平和に暮らしていたが、大勢の大和民族(生活習慣、言語が違う)が本州から移り住むようになってから、色々な人権問題が起こっています。

今回の河原先生の話聞き改めて今もまだまだ偏見が続いていると認識しました。アイヌの人々は、コタンという小さな村で暮らし、動物も、草や木も、海も山も川も、すべてのものをカムイ(神様)と考えています。そして、うれしいことや特別なことがあると、みんなで歌ったり踊ったりして楽しく暮らしていたそうです。

大変素晴らしい伝統文化だと思います。今の文化の犠牲にしたくないです。

(人権啓発推進員 木嶋 紀世司)

湖山地区人権啓発推進員

着任あいさつ



井 上 る み

人権について、皆さまと一緒に考え学んでいこうと思います。
どうぞ宜しくお願いいたします。

人権図書紹介

「ぼくと一緒に考えよう」	小島よしお(著)	朝日新聞出版
「もうじきたべられるぼく」	はせがわゆうじ(著)	中央公論新社
「君はどう生きるか」	鴻上尚史(著)	講談社
「誰のためのアクセシビリティ？」	田中みゆき	リトルモア
「9月1日 母からのバトン」	樹木希林(著)内田也哉子(著)	ポプラ社

編集後記

来年度も新型コロナやインフルエンザ等への感染症に注意を払いながら、湖山地区人推協の各種事業を進めてまいりますので、人権問題へのご理解をいただきますと共に、町民の皆様のご協力と事業へのご支援や積極的なご参加をいただきますようお願いいたします。



『思いやりあふれるまちづくりをめざして』